

～エスエス製薬「イブクイック頭痛薬」～
これぞ理想の先輩OL?!
スーツ姿の篠原涼子さんがオフィス街でクールに宣言!
「頭痛薬に期待すること。速くよく効くこと。以上!」

『頭痛薬に期待すること』篇

2010年4月8日(木)より全国オンエア開始



イブクイック頭痛薬 新TV-CM
『頭痛薬に期待すること』篇 (15秒)

2010年4月7日
エスエス製薬株式会社

エスエス製薬株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:塩野紀子)は、「イブクイック頭痛薬」のイメージキャラクターに、引き続き女優の篠原涼子さんを起用し、新TV-CM『頭痛薬に期待すること』篇(15秒・30秒)を、2010年4月8日(木)から全国でオンエア開始いたします。

※30秒バージョンは、首都圏・中部・近畿エリアのみ

■「イブクイック頭痛薬」について

インターネット調査(※)によると、頭痛薬を選ぶ際に「速く効く」「よく効く」という効果を重視する方が非常に多くいることが分かりました。と同時に、「胃にやさしい」ことを重視する方も8割近くを占め、胃へのやさしさも無視できないポイントのようです。そのようなユーザーのニーズに応えて開発されたのが、「イブクイック頭痛薬」です。痛みや熱のもと(プロスタグランジン)にイブプロフェンがすばやく作用し、「いま何とかしたい」そのつらい頭痛に効果を発揮します。さらに、酸化マグネシウムが、胃酸を抑えることで、胃にやさしい処方を実現しています。本製品のイメージキャラクターには、昨年4月より、幅広い年齢層の女性から高い支持を集めている、女優の篠原涼子さんを起用しています。今回、2010年の第一弾CMが完成しました。

※当社調べ

■TV-CMについて

新CMは「頭痛に悩まされる時間を少しでも減らしたい」という現代の働く女性たちに向けて、篠原さんが「頭痛薬に期待すること。速くよく効くこと。以上!」と、シンプルかつ力強いメッセージを発信する姿を通じて、「イブクイック頭痛薬」の特徴をストレートに訴求していきます。

洗練されたオフィス街を堂々と歩いている篠原さん。カメラ目線で「頭痛薬に期待すること。速くよく効くこと」と語りかけた後、ピタッと歩みを止めると、「イブクイック頭痛薬」のパッケージを顔の横に掲げて、「以上!」とポーズを決めます。続いて、片手で軽く頭を押さえながら、目を瞑ると、その頭部の周りを、「EVE」のロゴが青く細い光となって篠原さんを包み込みます。「イブプロフェンが頭痛のもとへ」というナレーションに続いて、メカニズムカット、朝日が昇るシーンが短くインサート。再び篠原さんが登場し、空を見上げながら、気持ちよさそうに伸びをしています。ラストは、カメラ目線で「あなたはイブクイック頭痛薬?」と問いかける篠原さんのアップ。明るく元気な笑顔とともに、頭痛に速くよく効く「イブクイック頭痛薬」の特徴を表現しました。

■撮影エピソード

□ 悪天候の谷間に奇跡のロケ撮影

撮影は3月上旬、都内のオフィス街で行われました。ロケということで、雨天の場合を考慮して、予備日を含め2日間を予定していましたが、撮影日前後の天気予報はいずれも降水確率80%以上。雨どころか、雪マークまで出てくる最悪の予報で、初日はやはり雨で中止に。しかし、スタッフの祈りが通じたのか、翌日は直前までの雨予報をくつがえし、一転、晴れ模様。後々振り返ると、1週間のうち、その日以外は全て悪天候という、まさに奇跡的なロケとなりました。

□ 寒さを吹き飛ばす最高の笑顔

当日は、強い北風が吹く非常に寒い一日。雨こそ降らないものの、曇ったり晴れたり、現場周辺の明るさがころころ変わり、照明のセッティングひとつ決めるのも難しいハードな環境で、スタッフは朝から撮影準備に追われていました。そんな中、濃いブルーと白のスーツ姿でさっそうと登場した篠原さん。気温が上がらず、監督やスタッフも全員、ダウンジャケットなどを着用、防寒体勢を整えている中、一人だけ明らかに「寒い！」衣装でしたが、篠原さんは寒さをまったく感じさせない、とびっきりの笑顔でスタッフとあいさつを交わし、現場の雰囲気を一気に明るくしていました。

□ 平日のビジネス街に人だかり

平日で、実際に働いている方々も現場の周りを通行する中で始まった撮影。昼休みにちょっとご飯を買いに来ただけの人も、つつい足を止め、圧倒的な存在感を放つ篠原さんの姿にくぎ付けとなっていました。本番では、監督の演技指導が入りますが、どれも素敵な笑顔で、スタッフも思わず見とれてしまう状態が続きました。

□ 高い集中力と抜群の演技力で現場をリード

午後からの撮影は、ロケ地を線路に近い場所へ変更したことで、新幹線やモノレールが通るたびに撮影が一時中断。さらにはどんどん日が沈んでいき、タイムリミットが刻一刻と近付いてきます。そんな中、終始高い集中力をキープし、安定感抜群の演技を披露していた篠原さん。撮影中のキリッとした佇まい、撮影の合間に見せるチャーミングなしぐさ、そして最後のカットを撮り終えた瞬間のホッとした表情など、さまざまな一面をのぞかせる篠原さんの姿に、スタッフ全員が何度も癒され、いつも以上に力を引き出せる撮影となりました。

■篠原さん撮影時インタビューコメント ～新生活を始める女性たちにエール～

撮影終了後、篠原涼子さんに、働く女性たちへのメッセージをいただきました。

◇ 忙しい毎日をお過ごしと思いますが、オン/オフはどのようにバランスを取っていますか？

「どちらかというと、仕事は仕事で一生懸命、家庭は家庭で楽しみながら真剣にやっています」

◇ 4月といえば、新生活のスタートの時期ですが、新しいことを始めるみなさんに何かアドバイスはありますか？

「新しいことをはじめるというのはすごく素敵なことで、とても刺激をもらえることだと思うので、肩の力を入れすぎずに、自分の心を信じて、マイペースにやっていただければと思います。トラブルとか悩みとか、頭痛の種になりそうなことは、早めに対処して、頑張ってください」

◇ 篠原さんは頭痛や肩こり痛のとき、どんな対処をされていますか？

「軽い運動をしたり、お風呂にゆっくりつかったり。体を温め、リラックスさせます。でも、仕事のときは頭痛に悩むのは嫌ですね。そういうときはぜひ『イブ』を使ってくださいね」

◇ 働く女性の先輩として、新社会人の皆さんに何かアドバイスを頂けないでしょうか？

「これから社会に出て行く方々は、本当にいろんなことが未知との遭遇で、楽しくないことも沢山出てくるかもしれません。でも、人生は経験したものの勝ちなので、これからもどんどん頑張っていただきたいなあとと思います」

◇ 最後に働く女性として、同じように頑張っている女性の皆さんにメッセージをお願いします。

「無理をせず、自分をいたわってあげて、リラックスする時間を与えてあげるのがいいのではと思います。そしていい恋愛をして、お仕事を、もっともっとキレイを目指してください」

【ご参考】

■「イブアウターI」の新CMにも出演

今回、EVEブランドの肩こり痛外用薬である、「イブアウターI」の新CMにも、篠原涼子さんを起用しています。インターネット調査（※）によると、肩こり痛は6割以上の女性が悩む、最も起こりやすい症状のひとつです。「イブアウターI」は、肩こり痛や腰痛に優れた効果を発揮します。

CMでは、先輩OLの篠原さんが、デスクでつらそうに肩を押さえる後輩OLに気がつき、後ろから、「おっ、肩こり痛？」と声を掛けます。そのまま後輩の横を通り過ぎ、その後、くるっと振り返り、ササッと「イブアウターI」を取り出し、「これ貼ってみれば？」と茶目っ気たっぷりにほほ笑みます。

撮影当日は、バレンタインデー前日の2月13日。なんと、撮影の合間に、篠原さんからスタッフ全員にバレンタインデーの差し入れが。誰も予想をしていなかった事態に現場スタッフは大喜びでした。忙しい中でも、周りへの心遣いを忘れない篠原さんの優しさに一同感動し、誰もが魅了された1日となりました。

※当社調べ



イブアウターI 新TV-CM
『アネゴOL』篇（15秒）

■新TV-CM『頭痛薬に期待すること』篇（15秒）ストーリーボード

カット/ナレーション		カット/ナレーション	
C1		C7	
C2	 [効果音] 頭痛薬に期待すること。早く早く効くこと。	C8	
	 [効果音] 以上!	C9	 [効果音] あなたはイブクイック頭痛薬?
C3		C10	 [効果音] ピンポン
C4			
C5			
C6	 [効果音] No! イブプロフェンが頭痛のもとへ。		

■新TV-CM『頭痛薬に期待すること』篇 撮影風景





■出演者プロフィール

篠原 涼子 (しのはら りょうこ)

1973年8月13日生まれ、B型、群馬県出身

<主な作品>

- 映画
- 「THE有頂天ホテル」 (2006年)
 - 「花田少年史」 (2007年)
 - 「アンフェア・ザ・ムービー」 (2008年)
- ドラマ
- 「anego〜アネゴ〜」 (NTV/2005年)
 - 「アンフェア」 (KTV/2006年)
 - 「ハケンの品格」 (NTV/2007年)
 - 「働くゴン！」 (NTV/2009年)
 - 「月の恋人〜Moon Lovers〜」 (CX/2010年 予定)

■CM概要

- タイトル : イブクイック頭痛薬 新 TV-CM『頭痛薬に期待すること』篇 (15秒・30秒)
- 撮影時期 : 2010年3月
- 撮影場所 : 都内近郊ロケ
- 放映開始日 : 2010年4月8日 (木)
- 放送地域 : 全国

■制作スタッフ

- CD : 弦田 英明
- ディレクター : 岡田 大輔
- コピー : 飯塚 浩一郎
- プランナー : 正村 堅太郎 / 島田 貴子
- AD : 八田 祥孝

チーフプロデューサー	古市 豊彦
プロデューサー	大江 比呂子
PM	上釜 京／吉田 真理
ディレクター	鈴木 洋
撮影	宮原 夢画
照明	筑田 康司
美術	河野 博
スタイリスト	藤井 享子
ヘアメイク	岡野 たまえ
出演	篠原 涼子